

活気溢れる 働きやすい職場

橋本 果菜

Hashimoto Kana

国税専門官 | 2018年採用

博多税務署 管理運営部門



Question 1 現在の仕事内容について教えてください

私は現在、管理運営部門で主に内部事務に従事しています。具体的な仕事としては、来署される納税者の方の一般的な税務相談や電話対応、申告書・届出書等の入力、国税の収納、納税証明書の発行事務等です。

管理運営部門は、来署される納税者の方々と最初に対応するため、「税務署の顔」とも言われており、私たちの対応で税務署の印象が決まるといっても過言ではありません。

来署される納税者の方は、税について分からないことを質問するために来署されます。

その不安を解消するために、いかに相手の目線に立って丁寧にに対応するかが求められます。そのため、相談が終わり安心して帰られる納税者の方の姿を見ると、やりがいを感じます。



Question 2 志望動機を教えてください



私が国税専門官を志望したのは、業務説明会に参加したことがきっかけです。税務職員は「税のスペシャリスト」として専門性の高い仕事が出来るという点に魅力を感じました。

また、国の財政を担うという強い使命感と誇りを持って働いている、という職員の話聞いてやりがいと充実感のある仕事だと思いました。

さらに、充実した福利厚生制度により、結婚・出産後も安心して働くことができるので、女性にとって良い職場だと分かり、受験しようと思いました。

Question 3 採用前と採用後のイメージの違いはありましたか

採用前の税務署のイメージは「男性が多く、堅苦しい職場」で、正直少し怖いイメージがありました。しかし実際は、活躍している女性職員も多く、わからないことは丁寧に指導してくれる上司や先輩もたくさんいらっしゃるの、最初のイメージとは異なり活気があり、風通しの良い職場だと感じています。

また、税務大学校等での研修や日々の仕事の中で同期とのつながりも強くなるので、何でも相談できる仲間ができることも魅力の一つだと思います。



メッセージ

Message



私は、大学時代は英語を中心に学んでおり、税法や会計には全く触れたことがありませんでした。そのため採用前は不安でしたが、実際に働いてみると、研修や日々の職務を通じ、専門的知識を身につけることができる環境が整っている職場だと感じています。日々学ぶことが多く大変ですが、その分やりがいと達成感のある仕事だと思います。

ぜひ、皆さんも活気溢れる税務の職場で一緒に働いてみませんか？